



発行番号：第12A3143号

発行日：平成24年12月27日

品質性能試験報告書

依頼者 株式会社 カ ナ イ

埼玉県八潮市西袋717-1

試験名称 枠組壁工法用接合金物を使用した接合部の引張試験

標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

一般財団法人 建材試験センター

中央試験所長 黒木 勝

埼玉県草加市稲荷5丁目20番20号



品質性能試験報告書

試験名称	枠組壁工法用接合金物を使用した接合部の引張試験						
依頼者	株式会社 カナイ						
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 商品名：ウォールコーナ 寸法：73.2×163.2×50mm, 厚さ3.2mm</p> <p>2. 接合具 たて枠側：木ねじφ6.0×75mm, 7本使用 床根太側：木ねじφ6.0×150mm, 4本使用</p> <p>3. 使用枠組 たて枠：枠組壁工法構造用製材, JAS 乙種スタンダード, 樹種；S-P-F, 寸法；38×89mm 上 枠：枠組壁工法構造用製材, JAS 乙種スタンダード, 樹種；S-P-F, 寸法；38×89mm 頭つなぎ：枠組壁工法構造用製材, JAS 乙種スタンダード, 樹種；S-P-F, 寸法；38×89mm 床 根 太：枠組壁工法構造用製材, JAS 乙種スタンダード, 樹種；S-P-F, 寸法；38×140mm</p> <p>4. 試験体数 7体 (うち1体予備試験体) 参 照：図-1及び図-2 (試験体)</p>						
試験方法	「2007年 枠組工法建築物構造計算指針」(監修/国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室, 発行/社団法人日本ツーパフォー建築協会) の第V編「材料及び接合部の許容応力等を定める試験・評価方法とその解説」の1.2.3「接合部の基準許容応力および基準終局耐力並びに基準剛性(繰返し加力接合部試験によるもの)」に準じて行った。試験方法を図-3に示す。						
試験結果	試験体記号		試験許容応力時		試験終局耐力		試験剛性 (K) kN/cm
	記号	番号	(Py) kN	(δy) mm	(Pu) kN	(δu) mm	
	WC	0	19.9	2.0	31.2	22.9	99.5
		1	18.0	2.0	27.3	13.8	90.0
		2	18.7	2.1	30.5	19.1	89.0
		3	18.2	2.3	30.2	23.2	79.1
		4	18.5	2.1	30.7	21.9	88.1
		5	19.6	2.0	30.4	16.1	98.0
		6	17.9	2.2	29.8	23.0	81.4
	平均	18.5	2.1	29.8	19.5	87.6	
標準偏差 s		0.62	0.12	1.27	3.90	6.74	
5%下限値		17.1	—	26.8	—	—	
基準値		基準許容応力 11.4	—	基準終局耐力 26.8	—	基準剛性 87.6	
(注) 基準許容応力は試験許容応力の5%下限値に2/3を乗じた値であり, 基準終局耐力は試験終局耐力の5%下限値である。また, 基準剛性は試験剛性の平均値である。 参 照：表-1 (2/3Pmax時, 最大荷重時及び破壊状況) 図-4及び図-5 (荷重-変位曲線) 写真-1~写真-6 (破壊状況)							
試験期間	平成24年11月30日						
担当者	構造グループ 統括リーダー 川上 修 主 任 上山 耕平 (主担当) 庄 司 秀 雄						
試験場所	中 央 試 験 所						